

事業計画書

我が国の経済は、長引く景気の低迷からようやく回復に転じる兆しが期待されておりますが、東日本大震災復興事業の長期化と原発事故による汚染やエネルギー問題、また、世界経済の影響等が懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

当センター事業におきましても、事業仕分けによる国庫補助金の3分の1が削減されたことに加えて、適正就業指導による契約内容の見直しと経済不況による受注量の大幅な落ち込みが影響して、財政面において非常に厳しい状況が続いています。

超高齢化社会を迎える現在、高齢者の就業機会を担うセンター事業の役割はこれまでと変わらず大きなものであることは言うまでもありません。よって、平成25年度も引き続き「就業機会の拡大」「会員の増強」「安全・適正就業」を推進してまいります。

当センターは、平成24年4月1日から「公益社団法人」に移行しました。このことにより、高齢者の就業対策を担うことはもとより、社会奉仕活動や地域社会に貢献した公益性の高い事業を展開していくことが新たに求められています。

これらの事業を展開する組織運営にあたっては、経費節減を重視しながら限られた財源を有効に活用して、魅力あるセンターづくりに取り組みます。

会員の皆様には、これまで以上にセンター事業に対するご理解とご協力が不可欠となります。

ここに以下に掲げる基本方針に基づいた事業計画を定め、全会員の協力を得て、地域社会に信頼されるセンター事業を推進してまいります。

1. 基本方針

- (1) 会員及び高齢者の就業機会の開拓及び提供に努めます。
- (2) 会員の増強ならびに資質の向上に努め信頼性を高めます。
- (3) 情報の収集及び提供並びにセンター事業の普及啓発活動を推進します。
- (4) 会員の就業に関する各種研修会を開催します。
- (5) 新規事業に取り組む調査研究を実施します。
- (6) 会員の安全就業及び会員の健康管理を推進します。
- (7) 高齢者の就業に関する相談業務を実施します。
- (8) 運営体制の充実と事務の効率化を推進します。
- (9) 高齢者のための無料職業紹介事業を実施します。
- (10) シルバー派遣事業を実施します。
- (11) 地域に役立つボランティア活動を推進します。

2. 事業実施計画

(1) 就業機会の開拓及び提供

- ① 就業開拓委員会を中心に、受注開拓と新規事業の開発に努めます。また、就業開拓創出員を配置して、効果的、定期的な就業開拓を実施して就業会員の拡大に努めます。
- ② サービスメニュー表を広く市民に周知し受注拡大を図ります。さらに、会員自らも宣伝マンとして、就業時等にサービスメニュー表を発注者の近隣に配布していただくことで就業拡大を図ります。
- ③ 住まいの修繕関係等の職種を充実させて、個人家庭からの受注拡大を図ります。
- ④ 老人福祉センター「くすのき荘」内で実施している高齢者向けのカルチャー教室（実用書道、パソコン等）事業の充実を図ると共に、新規教室事業の開発に努めます。
- ⑤ 日常生活のちょっとした困りごとに安価に対応する代行サービスを実施します。
- ⑥ センター事務所入り口に設置した掲示板に、仕事情報を随時掲示します。
- ⑦ 機関紙、ホームページを活用して仕事情報の提供を図ります。
- ⑧ 多くの会員に就業機会を提供するため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進し、未就業者の解消に努めるとともに適正で公平な就業体制を図ります。

(2) 会員の増強

- ① 組織委員会が中心となり、毎月地区センター等を会場にして、センター事業の説明会を実施し、新たな入会者の確保に努めます。
- ② 単に就業することのみを目的とせず、センターの公益的事業（ボランティア）活動を理解していただける方の入会を推進します。
- ③ 入会説明会への参加を広く周知するために、市広報への掲載を継続します。
特に人数の少ない女性会員を増強するための説明会を増やします。
- ④ 技能職種や後継会員の確保を図るため、60歳代を対象にした説明会を職種別、男女別に開催します。
- ⑤ 家事サービス会員の交流連絡会をはじめとする、交流機会の場の充実に努めます。
- ⑥ 地域班創設に向けてのモデル地区活動を継続して実施します。

(3) 情報の収集及び提供

- ① 広報委員会による、機関紙「シルバーだより」を発行し、会員及び広く市民への情報提供及びPRの場として活用します。
また、会員向け機関紙「広報ふれあい」では、理事会及び各委員会の活動状況やお仕事情報など、センター情報をタイムリーにお知らせします。
- ② 関係機関や地区センター等にパンフレットやチラシを随時配布します。

- ③ 「越谷市民まつり」や「産業フェスタ」などのイベントに積極的に参加して、会員力を活かしたセンター事業のPRを図るとともに、地域貢献活動に努めます。
- ④ ホームページの充実を図り、効果的なセンター事業のPR及び情報の発信をします。
- ⑤ 市広報紙及び報道機関へ記事の提供並びに取材協力を行います。
- ⑥ 全シ協等の関係機関から各種情報の収集を行い、センター事業の推進に役立てます。

(4) 研修会の実施

① 基礎研修と接遇研修の実施

組織委員会により、新入会員を対象に、「会員のしおり」を中心にした就業上の心得に関する基礎研修と、挨拶や身だしなみ等の基本的な接遇研修を実施します。

② 技能職種研修の実施

技能職種（植木剪定、襖・障子、筆耕等）を希望する会員を対象に、技能と就業に関する基本的な知識の習得を図るための研修を実施します。

③ 仕事別グループ研修の実施

すでに技能職種で就業している会員には、技能向上に加えて、仕事に対する心構えを改めて認識することを目的とした仕事別グループ研修会を実施します。

④ 家事サービス研修の実施

個人家庭からの受注拡大を図るため、家事サービス分野を希望している会員を対象にした基礎研修とステップアップ研修を実施します。

また、「認知症サポーター養成講座」を公益的に会員及び広く一般市民に対して開催し、認知症に関する情報を提供していくものとします。

(5) 調査研究の実施

- ① 会員入会時に実施したアンケート調査を参考にして、会員の資格・免許・特技を活かした職種の展開や創造を図ります。
- ② 地域社会のニーズに応え、会員の就業機会を広げるために新規事業の研究に取り組みます。

(6) 安全就業及び健康管理の推進

- ① 安全管理委員会による、安全就業に関する研修会の開催や就業現場の巡回指導を実施し、就業会員の安全就業意識の向上を図ります。
- ② 安全標語を募集し、定時総会において優秀作品の紹介と表彰を実施して会員の安全に対する意識啓発を行います。
- ③ 機関紙「シルバーだより」、「広報ふれあい」で定期的に安全就業や健康管理を呼びかけます。

- ④ 各種技能研修会には、必ず安全研修も併せて実施します。
- ⑤ 会員及び市内の高齢者に自動車教習所で開催する「シルバードライバードック」「自転車安全運転講習会」への参加を奨励して、交通ルールの順守および交通安全の意識高揚に努めます。
- ⑥ 健康講演会及び体力測定会を開催し、会員及び市内の高齢者の健康管理と親睦交流を図ります。

(7) 相談

- ① 理事による、会員相談会を継続して開催し、就業促進や心のケアに努めます。
- ② 仕事を求める高齢者の相談に対応します。

(8) 運営体制の充実と事務の効率化

- ① 総務、事業の2部会と総務、組織、広報、業務、就業開拓、安全管理の6委員会が中心となって、中長期計画に基づく第2期アクションプラン（平成24年度～平成26年度）を実施してまいります。
- ② 業務委員会が主体となり、仕事別グループ（職域班）の組織化を図り、会員による自主的な就業形態の確立を目指し、就業の適正化を図ります。
- ③ 事務局業務への会員参加と事務の効率化を図り経費節減に努め、財政基盤の強化を図ります。

(9) 無料職業紹介事業の実施

高齢者の「臨時的かつ短期的な雇用又はその他の軽易な業務に係る雇用」による無料職業紹介事業に対応します。

(10) シルバー派遣事業の実施

請負・委任では契約できない仕事や、会員の多様な働き方の選択肢を確保するために一般労働者派遣事業（シルバー派遣）を実施します。

(11) ボランティア活動の推進

保育所のクリスマス会でのサンタクロース役や、学童保育室等での営繕（網戸張替え等）のボランティア活動を実施すると共に、市民の役に立ち、生きがいを地域に還元できるボランティア活動を推進します。